

深仙宿避難小屋の窓増設と2ヶ所に塵看板設置など

◇ 実施日 10月14日(木) 晴

◇ 参加者 沖崎吉信、松本吉殖、畑林秀味、阪口秩臣、梶野照雄

5名

深仙宿避難小屋の窓は、平成28年4月16日に窓サッシ2個を荷揚げ。5月1日にドアの東側に窓を一つ取り付けた。内壁を白色に塗り替え、窓を付けたことで室内はかなり明るくなったが、南側が薄暗い状態が続いていた。窓サッシを2個荷揚げした段階で窓は2個付けることが決まっていた。



トイレは工事が終わっていた 登りだす

快晴の登山道

「大峰友の会」の浅井證善氏から香水水水槽の水漏れ対応の要請

を受けて9月10日、松本、梶野の2名が調査に向かったが、その時に二つ目の窓取付を決意されたようだ。

9月28日に深仙宿を訪れた際に窓取付用の角材や水切り板、工具等を荷揚げしてお堂にデポされた。

その後天気予報を確認して、晴が確実な10月14日に窓の工事をを行う、と連絡を頂き5名で向かうことになった。

日も短くなってきて、作業時間も限られる。新宮から車で2時間半、登山口から深仙宿までは3時間近くを要するので、早朝5時の出発を決めた。



ハシゴを取り付け

トタンを剥がす

大日岳に到着

旧関電エレハウス（現在は工事事務所）の駐車場で梶野君と合流し太尾登山口に向かった。登山口には平日にもかかわらず7台の車が駐車していた。ハシゴや工具を分担して、7時30分過ぎにスタートする。今日は予報通り快晴で、暑くも寒くも無く最高の登山日和である。古田の森、千丈平と予定通りの時間で通過し、深仙宿へ

の捲き道に入る。先日の笹刈りで足元がよく見えるようになって大変歩きやすい。伊富喜行者入定地を過ぎて5分ほど、岩の50cmほどの段差にハシゴを設置する。3人には先行して頂き、沖崎、梶野の2名で作業する。アンカー2個は先日岩に打ち込み済、足元を固定する鉄筋もデポしてあるので、鉄筋を打ち込み上下の4ヶ所を番線で固定するだけの作業だ。5分ほどでハシゴの取り付けは終わり深仙宿へ向かった。



靡看板を設置

聖天の森にも

トタンを戻す

深仙宿では先行した3名が工事を始めていた。南側の外壁トタンを剥がし、木枠を取り付けてそこにサッシをはめ込む。窓の大きさのトタンを切って再びトタンを取り付ける。この一連の作業は松本君が主導し、畑林、阪口の両名がサポート・手伝いとなるので、沖崎、梶野の2名は大日岳と聖天の森の靡看板設置に向かう。前回、聖天の森と五角仙の場所を確認に向かい、桜本坊の碑伝を発見、これによって聖天の森の場所が確定した。五角仙についてはそ

れと思われる場所を見回ったが、碑伝は見つからなかった。聖天の森に標板と杭を置いて設置は帰り道で行う事にし、大日岳に向かった。

私は標板をザックに入れて担いでいたので両手が自由に使えたが、杭を手に持っていた梶野君は岩場で前に置いたり、後ろから私が手渡したりして何とか無事に大日岳山頂に着く。

大日如来像や基台の石に異常は無く穏やかなお顔も変わらない。3年ぶりの対面だがゆっくりはしていられない。すぐに杭を打ち込んで靡看板を設置する。像の右少し後方を設置場所とした。岩が多いので杭が打ち込めるか心配だったが、運よく岩がない場所で、杭を動かすことなく一発で打ち込むことが出来た。



はめ込みに苦勞する

仮止め完了

本日の参加者

靡看板の設置を終え、帰り支度をしていると山頂の東側に砂や砂利の入った布袋やビニール袋が10袋放置されているのが目に入った。3年前に基台の石積を積み直した際の残りで、持ち降ろさずそ

のままにしていたようだ。袋の中の砂や砂利を地面に撒いて袋を集めて持ち帰った。

大日岳の靡看板設置を終えて深仙宿へ戻る途中で、梶野君は五角仙と思われる岩峰に登って碑伝が置かれていないか周辺を探すが発見できなかった。聖天の森に靡看板を設置する。奥駈道から看板が見えるように、少し下方に設置した。

12時15分、深仙宿に帰り着く。窓サツシの取り付けは終了していた。取り外した外壁トタンを再び取り付ける作業の真つ最中で、進捗具合を見守った。トタンはすんなりと収まらず、下の土を掘ったり上部を切って短くしたりと手間取り、外したトタンが元の位置に納まるまでに30分以上を要した。

ここまで昼食も摂らずに作業を続けたが、トタンの仮止めを終えて昼食を摂る。午後2時頃には下山しないと暗くなるので、室内側の壁を切り取る作業は次回に行くこととして、深仙宿を後にする。

午後1時過ぎ、東側から雲が増えだし深仙宿は一時ガスに覆われた。千丈平まで喘ぎながら登り、古田の森、不動木屋登山道分岐で休みながら午後4時40分に下山完了した。

二つ目の窓設置にご尽力いただいた松本、畑林、阪口のお三方に厚くお礼申し上げます。

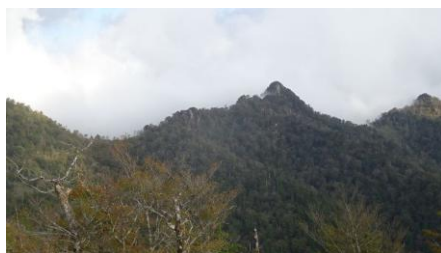
松本さんには9月10日、28日と本日10月14日、ひと月に三度も深仙宿に足を運んでいただき、窓の増設に目途を付けて頂いた重ねてお礼申し上げます。

靡看板の設置も残す所、五角仙と蘇莫岳、そして依然として場所不明の千草岳の3ヶ所だけになった。

(記：沖崎)



水量が減った「かくし水」



大日岳と深仙宿



無事下山

行動タイム

太尾登山口07:30→08:53 古田の森→09:38 千丈平→10:15
深仙宿→11:09 大日岳→12:15 深仙宿 14:00→14:40 千丈平→16:
太尾登山口